

あかね雲

2023.01.23

NO.183



益田市／衣毘須神社

CONTENTS

- | | |
|--------------------|--------------------|
| ◆新年のごあいさつ……………P1 | ◆職能委員会活動報告……………P4 |
| ◆理事会報告……………P2 | ◆教育・研修活動報告……………P5 |
| ◆島根県看護協会の動き……………P2 | ◆ナースセンターだより……………P6 |
| ◆支部活動報告……………P3 | ◆お知らせ……………P7 |



新年のごあいさつ



公益社団法人島根県看護協会 会長 秦 美恵子

新春のお慶びを申し上げます。

日頃から島根県看護協会事業にご理解とご支援をいただき心より感謝申し上げます。

新型コロナウイルス感染症(以下新型コロナ)発生から3年が過ぎ、行動制限のない年末年始となりました。地域に活気が戻りつつある一方で、新型コロナの波は第7波、第8波と医療の現場にもたらしている影響はますます大きくなっていることを痛感しています。皆様には病院、宿泊療養施設や在宅療養の場等、新型コロナ感染症と対峙しながら日々の業務に最善を尽くしていただいていることに、敬意と感謝を申し上げます。今年は、インフルエンザとの同時流行の兆しも見えており、緊張の日々が続きますが、コロナ禍で見えてきたさまざまな課題を整理し、改善に繋げることが必要だと考えています。本会としても、皆様のご意見を頂きながら検討を進めて参ります。

さて、目前の新型コロナ感染症の対応と共に、この3年の間も人口減少、高齢化が着実に進んでいます。持続可能な医療提供体制確保のために、地域医療全体を見据えた医療機能の分化・強化、連携等の必要が改めて認識されつつあります。令和5年度は、翌令和6年度から始まる第8次保健医療計画および第9期老人福祉計画・介護保険事業支援計画が策定される重要な年です。県民の皆様が住み慣れた地域で安心して暮らせる社会の実現に向け、良質かつ適切な保健・医療・福祉サービスの一体的な提供体制の構築を目指すため、現場の状況や課題等生の声を島根県看護協会の支部会や職能委員会、事務局に届けて頂きたいと思えます。皆様の声を集約し看護職能団体として、県計画策定プロセスに関わっていきたくと考えています。

昨年11月18日には、人事院規則が改正され、国家公務員医療職俸給表(三)級別標準職務表の見直しが公表されました。看護協会では、この改定を大きなチャンスと捉え、看護職員の現状に見合った賃金制度見直しを進めたいと考えています。まずは看護管理者等への情報提供や提案をしながら関係者の皆さまと一緒に推進を図ります。看護職の皆さまには、看護専門職としての働きの対価でもある賃金であることを認識し、自身のキャリアや処遇について関心を持っていただき一緒に取組んでいきましょう。

物事の本質を見抜くためには、一つの事象を多角的にみる必要があり、生き物になぞって「虫の目・鳥の目・魚の目・蝙蝠(コウモリ)の目」と言われています。虫の目は局所的に注視して見ること、鳥の目は俯瞰して全体を見ること、魚の目は取り巻く環境や時代の流れに着目すること、そして蝙蝠の目は逆さまにして見ることです。少子高齢化、人口減少、自然災害、新興感染症、社会情勢等々、取巻く環境が急速に変化する中で、この「4つの目」をしっかり持って看護職能団体としての役割を果たしていきたいと思えます。

今年は卯年、芽を出した植物が成長していき茎や葉が大きくなる時期で、目に見えて大きく成長する年という謂われがあります。本会も継続して取組む事業はより良く発展させ、新規事業はしっかり土台作りをして築き上げたいと考えています。

島根県看護協会は看護職を支援する職能団体として、会員の皆様と共に歩んでまいります。

本年もどうぞよろしくお願い致します。

令和4年度 第5回理事会報告

【協議事項】

- | | | | |
|--|----|--|----|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 令和4年度重点政策・重点事業の進捗状況について(案) 2 令和5年度重点政策・重点事業(案)について 3 令和4年度委員会報告(職能・常任・特別委員会) 4 令和4年度協会事業・委託事業・ナースセンター事業報告 5 令和4年度支部事業報告 6 第16回島根県看護学術集会の開催について 7 令和5年度日本看護協会名誉会員及び
日本看護協会会長表彰推薦候補者(案)について 8 令和5年度島根県看護協会名誉会員及び
島根県看護協会会長表彰推薦候補者について 9 令和5年度通常総会・交流集会の開催(案)について | 承認 | <ul style="list-style-type: none"> 10 2023年度「看護の日・看護週間」事業(案)について 11 公立大学法人島根県立大学と公益社団法人島根県看護協会との包括的連携に関する協定書(案)の締結について 12 ホームページリニューアルについて 13 令和5年度公益社団法人島根県看護協会職員の給与改定(案)について 14 令和4年度上期決算の概要・監査報告について 15 令和5年度支部の予算配分額(案)について 16 本館外壁改修工事について | 承認 |
|--|----|--|----|

【報告事項】

- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> 1 日本看護協会第5回(11月)理事会・法人会報告 2 地区別法人会員会 3 地区別職能委員長会 4 日本看護学会学術集会 5 都道府県看護協会広報担当役員会議 6 都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会 | <ul style="list-style-type: none"> 7 日本看護協会全国看護基礎教育担当役員会議 8 令和4年度島根県看護協会会員数(11月末現在) 9 令和5年度事業計画書及び予算要求書の作成・提出について 10 看護協会の動き(10-11月)【書面報告】 |
|--|--|

島根県看護協会の動き(2022年10月・11月・12月)

項目	月 日(曜)	実施事項	出席者	場 所
日本看護協会	10/20~21	地区別法人会員会	秦会長・池田理事他	ホテルグランヴィア岡山
	10月21日(金)	地区別職能委員長会	職能理事他	ホテルグランヴィア岡山
	11/8~9	日本看護学会学術集会	秦会長	幕張メッセ
	11月 9日(水)	公益法人運営に関する勉強会(WEB)	池田理事・事務局長他	看護研修センター
	11月10日(木)	都道府県看護協会広報担当役員会議(WEB)	池田理事他	看護研修センター
	11月18日(金)	都道府県看護協会・都道府県訪問看護連絡協議会合同会議(WEB)	秦会長他	看護研修センター
	11月28日(月)	日看協PRパス企画に関する説明会(WEB)	秦会長他	看護研修センター
	11月30日(水)	日本看護協会全国看護基礎教育担当役員会議	池田理事	JNAホール
島根県看護協会	10月 6日(木)	常務理事会	秦会長他	看護研修センター
	10月 8日(土)	看護連盟・協会合同研修会(教育者・管理者研修)	原理事・秦会長他	看護研修センター
	10月12日(水)	理事会	秦会長他	看護研修センター
	10月13日(木)	高校生の進学ガイダンス	安達NC長	出雲商業高校
	10月18日(火)	圏域別看護関係者連絡会議(松江)	秦会長・安達NC長他	県民会館
	10月26日(水)	圏域別看護関係者連絡会議(益田)	秦会長・安達NC長他	益田市立保健センター
	10月27日(木)	圏域別看護関係者連絡会議(大田)	秦会長・安達NC長他	あすてらす
	11月17日(木)	令和4年度 上期決算監査会	小森監事・徳若監事他	看護研修センター
	11月19日(土)	特定行為研修の情報交換会・シンポジウム	原理事・秦会長他	看護研修センター
	11月29日(火)	高校生のための進学ガイダンス	青田理事	県立隠岐高校
	12月 7日(水)	拡大常務理事会	秦会長他	看護研修センター
	12月14日(水)	理事会・支部長会	秦会長他	看護研修センター
	12月21日(水)	看護職の勤務環境改善事業研修	安達NC長・秦会長	ウエルシティ出雲
島根県	10/15~16	島根県総合防災訓練	災害看護委員・徳若監事	隠岐
	11月 1日(火)	人権同和問題を考える女性の集い第4回実行委員会	秦会長他	県庁

支部活動報告

Withコロナで支部活動しています

隠岐支部理事 青田 和恵

近年はコロナ禍にあり支部活動にも様々な制約が生じていましたが、昨年からの感染予防に注意しながら少しずつ従来通りの活動に戻ってきました。隠岐支部は会員数が少ないからこそ可能で、小さな支部の良さだと思っており、今年度は支部総会を皮切りに研修会、まちの保健室、進学ガイダンス等、計画通り事業を進めることができています。

隠岐支部では、毎年3回の研修会を実施しており、1回目は支部総会の後に開催するのが慣例となっています。今年度は「癒されたい」、「リフレッシュしたい」との要望から「アロマスプレーづくり」を行いました。アロマの効能等について講師からお話を聞いた後、各自思い思いのスプレーづくりをしました。「よく眠れるようになりたい」「気持ちを落ち着かせたい」、「集中力を高めたい」等々言いながら、各自オリジナルのアロマスプレーを完成させました。その間、会場はアロマオイルの香りに包まれ、会員同士の話し声、笑い声で終始賑やかで、あっという間に時間が過ぎました。アロマの香りに癒されたことはもちろん、徐々に会員同士であれこれ話げできたことで参加者から好評を得ることができました。

顔を合わせた活動に越したことはありませんが、隠岐支部は海を隔てて島前、島後の会員からなっており、集まるには船での移動を強いられます。船で移動しなくても活動に参加することができるよう、講演を内容とした研修会はリモートを活用しています。コロナ禍で普及したリモートを上手に活用しながら参加しやすい活動についても配慮しています。

少子高齢化の進展が著しい隠岐圏域で看護職が元気で働き続けること、新しい仲間を増やすことは、島に暮らす人の命と生活を守るために今後益々重要になってきます。看護を取り巻く課題解決を意識しつつ、会員が楽しく参加できる支部活動になるよう今後も努めていきたいと思ひます。



出雲支部活動報告

出雲支部理事 森脇 真由美

今年度も新型コロナウイルス感染症と向き合いながら支部活動をおこなってきました。研修会は「健康な状態で暮らしていける社会～誰もがより元気に活躍できる」というテーマで出雲医療生活協同組合理学療法士の妹尾翼氏より講義を受けました。地域で健康に暮らしていく為、小さい集団でお互いを気にかける自助・互助が必要であることや病気になる前、介護が必要になる前に相談できる「敷居の低い窓口の設置」が必要との話を聞き、これからの私たちの役割についても考えさせられる内容でした。また腰痛予防のセルフストレッチの指導もあり、心身がリフレッシュする時間となりました。活動交流会では「新しい職場づくり～若手とベテランとの交流で導き出す最近の働き方とは」というテーマで島根大学出雲キャンパス林健司氏、島根県立中央病院遠藤智弘氏より講義を受けました。お互いの価値観を尊重しあうこと、「自分はここにいていいんだ」という「心理的安全性」の必要性などを学び、若手とベテランで意見交換しながらこれからの職場づくりを考えることができました。その他「まちの保健室」「進学ガイダンス」の活動も行い、各活動の必要性を再確認しました。



高校生進学ガイダンスへの参加

松江支部理事 出来 弘恵

松江支部では、withコロナと思ひながらも支部活動がしにくい状況が続いています。

このような状況ですが昨年度に看護協会ナースセンターより声をかけて頂き、高校生対象の進学ガイダンスへの参加を始めました。当初は進学ガイダンスの様子を知るための参加でしたが、今年度3回目の参加時にはナースセンターの協力もあり講師体験をすることもできました。

参加した学生さんは、若手看護師さんの看護職を目指したきっかけや学校生活、仕事内容、看護に対する思いなどの話を熱心に聞き、聴診器とSPO2センサーを使用した実技体験では笑顔でとても楽しそうにされていました。

アンケートからも、進学ガイダンスが学生さん達の不安軽減や進学意欲に繋がっているのを感じました。今後も多くの学生さんが看護職を目指してもらえるように、進学ガイダンスへの参加を続けていきたいと考えています。

今は職場体験もできない状況にあるため、進路を考える以前のもっと若い年代に看護職を知ってもらいたいと思ひ、来年度からは松江支部活動として中学生を対象とした看護PR活動にも取り組んでいきたいです。



職能委員会活動報告

看護師職能Ⅱ委員会

実際に食べてみよした「摂食嚥下障害のある患者の看護」研修

看護師職能Ⅱ委員長 大越 美香

12月2・3日(金・土)、「摂食嚥下障害のある患者の看護」研修を開催しました。オンライン講義でしたが、講師の小山珠美先生(NPO法人 口から食べる幸せを守る会・理事長)が会場に実際にいらっしゃるかのような、熱い講義・演習でした。募集対象を看護職以外にも案内したため、介護職、歯科衛生士、作業療法士の参加がありました。

1日目午前中は講義で食の基本を学び、午後は演習で小山先生が食べられている様子を正面と横から映し出され、食べる姿勢や食事介助方法を確認し、受講者も実際に水・プリン・クッキー等を「食べる」ことを意識して食べました。

2日目はKTバランスチャートを活用して事例演習を行い、多職種協働で取り組む食へのアプローチを学びました。

研修後アンケート「研修は今後の実践へ活かせそうですか」の問いに対し、全員が「活かせよう」「やや活かせよう」という結果で、具体的に「今までの食事介助は無意識で患者様に危険を与えていた。明日から1回1回、毎日、意識して食事介助を行いたい」「KTバランスチャートの活用はしていないが、多職種と協働しながら日中の栄養サポートを行っていきたい」等、明日からの実践について記載されていました。

今後も日々のケアが明日から実践できるような研修を企画したいと思います。



助産師職能委員会

11月27日 助産師職能研修会を開催しました

助産師職能委員長 落合 永美

ここ数年は妊娠期からの切れ目のない妊産婦や子育て支援をテーマとして研修を行いました。そこで、今年度は少し視点を変え、流産や死産を経験した女性、病気等で子どもを失った家族の悲しみや喪失感を支えるグリーフケアの充実をはかることを目的に流産・死産を経験した女性等への心理・社会的支援について研修を企画しました。申し込み数は定員を上回ったもののコロナ感染拡大により当日キャンセルがあり受講者は26名でした。

先に、島根県の子育て包括支援スタッフの西保健師から島根県の統計をまとめた母子保健の取り組み、不妊で悩む方への支援、流産死産をされた方への支援について情報提供をしていただきました。次に、島根県立中央病院の臨床心理士の大迫氏から「赤ちゃんとの“出逢い”と“別れ”を支えるということ」というテーマで自らの体験談も話していただきました。臨床心理士ならではの視点があり、参加者からも「今までのケアを振り返ることができた。退院後も引き続き連携してケアをしていけるとよと思った。」「流産死産を経験した家族へのかかわり方は難しいと悩むことが多いので大変参考になった。」などの感想がありました。今後も看護の質が高められるような内容を研修していきたいと思います。



保健師職能委員会

～地域と職域の連携による働き盛り世代の健康づくりの推進～

保健師職能委員長 藤谷 明子

11月27日出雲市民会館で、「地域と職域の連携による働き盛り世代の健康づくりの推進」をテーマに保健師職能研究会を開催しました。参加者は、行政機関の保健師9名、産業保健師4名、大学教員2名、個人会員1名、学生8名の27名で、企業や病院など様々な機関からの参加がありました。内容は、島根県健康推進課の規家保健師から「島根県における地域・職域連携の取り組みについて」の説明があり、続いて島根県労働局健康安全課課長鈴木一聡氏から「職場における健康管理」と題して、「労働安全衛生の歴史」から労働者の「転倒や骨折予防」に対する取組など幅広い内容での講演があり、参加者は普段聴くことのない多くの学びを得ることができました。活動紹介では、島根産業保健総合支援センターの仲佐菜生子氏、江津市健康医療対策課の坂越順子氏、まるなか建設株式会社の西村悟氏から発表があり、すぐに活かしたい参考となる内容でした。参加者の評価は全員が有意義・大変有意義と回答し、「今後の活動の参考になった」「もっと詳しく聞きたかった」などの意見でした。今後も、様々な機関で働く保健師の顔の見える関係づくりを深め、地域の健康課題の共有を図り、地域特性に応じた地域包括ケアの推進と今の時代に求められる保健師の資質の向上を目指した研修会を継続的に実施していきたいです。



厚生労働省鈴木氏



まるなか建設西村氏

認定看護管理者教育課程 実施報告

専任教員 福田里子

セカンドレベル教育課程

セカンドレベル教育課程は隔年開催のところ、COVID-19感染症蔓延で延期開催となった昨年度に引き続き、今年度も5月開講し、23名が受講し、全員が修了となりました。教科目の統合演習「実習」では、感染リスクを避け安全を最優先にして、地域の20施設で実習環境を調整して受け入れていただきました。地域連携における看護管理者の役割を学ぶ貴重な時間となりました。



(セカンドレベル教育課程 開講式)

ファーストレベル教育課程

ファーストレベル教育課程は、9月8日に開講し、51名が受講し、COVID-19流行がおさまらない中ではありましたが、無事に全日程を終えることができました。

両教育課程の受講体制について

セカンドレベル・ファーストレベル共に、長期間にわたる教育日程であり、今年度も昨年度同様に県外講師においてはリモートでの講義、受講生は研修センターでの集合研修という受講スタイルで実施しました。COVID-19感染症の影響は昨年度よりさらに大きい年となり、運営面では、コロナ関連での受講対応として、自宅でのZOOM受講や講義録画の後日受講等、受講生の状況に合わせての対応をまいりました。

新人看護職員研修事業(研修責任者研修) 実施報告

教育研修・事業担当 福田里子

今年度は、隔年で実施している研修責任者研修を開催しました。各施設での教育システムの検討をしたり、年度の研修企画や実施・評価をする役割を担う方々対象の研修です。

新人を受け入れ、教育・育成していくためには、現在の看護基礎教育のカリキュラム内容や、コロナ禍の影響で臨地実習時間が減少している状況を理解することが重要であることを講師の先生から伝えられました。

既存の教育プログラムを、今の新人に合った内容に見直すことや、コミュニケーション能力を磨くための現場での支援や工夫など、多くの課題が見つかる研修となりました。



(研修企画の検討についてのグループワーク)

ご当地「かんごちゃん」紹介

かんごちゃんの
しまね県バージョンが
決定しました。

ご希望があれば、データでお渡しますので
ご連絡ください。

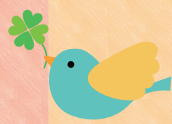
「看護の日」キャラクター
かんごちゃん



しまね県
かんごちゃん



担当者:池田(専務理事) 春田(総務) TEL:(0852)25-0330 E-mail:shimakk@shimane-kango.or.jp



復職への道

就業支援事業

松江生協病院 池淵成美さん

「現場で働くことはできない」と医師から言われた。
 まだ8年目でやりたい看護もあった。
 自分の障害ばかり考える日々が続き、転職も考えたが、一か八かでナースセンターに電話をした。親身に話を聞いて下さり、すぐに市内の病院へ情報提供して下さいました。
 今は退院調整看護師の一員として働いている。置かれた場所で咲けるように頑張りたい。

ナースセンターからの
応援メッセージ



ナースセンターでは、池淵さんの仕事に対する思いをお聞きし、後押しをしました。今の職場でご活躍されることを願っています。

宿泊療養施設に従事する看護職を応援します

島根県委託事業

「新型コロナウイルス感染症の宿泊療養施設に従事する看護職の研修」を、西部・東部の2会場で実施しました。

西部 11月29日 パレット江津

講師：済生会江津総合病院
 恒松 愛さん
 益田赤十字病院
 大賀香織さん
 大田市立病院
 牧野貴之さん



東部 12月5日 テクノアークしまね

講師：島根大学医学部附属病院 石飛映美さん



内容

- ①島根県感染対策室より最近の感染状況と島根県の対応について情報提供
- ②感染管理認定看護師から「COVID-19の対応」の講義
- ③宿泊療養施設の業務について意見交換

講義では、COVID-19の対応の再確認や根拠の明確化ができた。意見交換では現場で日々、宿泊療養に従事している看護職から活発な意見・質問・改善案が出され、課題の共有と今後に向けた意思統一が図れました。

移動ナースバンクをご利用ください!!

秘密厳守

相談無料

移動ナースバンク(就業相談会)		
地域	会場	開催日
松江	ハローワーク松江	毎月第3水曜日
出雲	県立中央病院	毎月第3木曜日
	パルメイト出雲	毎月第2木曜日
雲南	ハローワーク雲南	毎月第2水曜日
大田	ハローワーク石見大田	毎月第4水曜日
浜田	ハローワーク浜田	毎月第2水曜日
益田	ハローワーク益田	毎月第3水曜日

一人一人の働きたいを
応援します



看護就業相談員は全員看護職です
 地域に根ざし親身に対応します



～消防訓練を実施しました～

11月21日(月)10時から来所の皆さまと職員の安全確保のため消防訓練を実施しました。今年度はアクションカードを取り入れ、各自が割り当てられた担当任務を迅速、正確に行いました。訓練後は消火器を使用し、消火作業の実演を行いました。年に一度の訓練ですが、一人ひとりの災害に対する意識付けが大切だと感じました。



お知らせ

INFORMATION

訪問看護ステーション出向研修事業報告会

日 時:令和5年3月11日(土)午後
ZOOM開催

助産師出向支援事業報告会

日 時:令和5年3月25日(土)午後
会 場:出雲医療看護専門学校

看護管理者研修会

日 時:令和5年3月25日(土)午前
会 場:出雲医療看護専門学校

「看護の日・看護週間」事業PRバス運行

日 時:令和5年5月9日(火) 10:00～16:00
会 場:県東部地域 運行予定

日本看護協会通常総会

日 時:令和5年6月7日(水)
会 場:幕張メッセ

島根県看護協会通常総会

日 時:令和5年6月17日(土) 13:30～16:00
会 場:ビッグハート出雲

島根県看護協会職能別交流集会

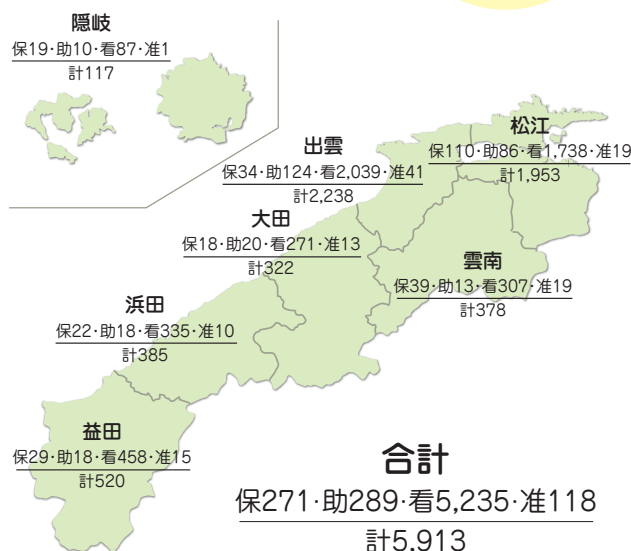
日 時:令和5年6月17日(土) 午前
会 場:ビッグハート出雲ほか

第16回島根看護学術集会

日 時:令和5年7月8日(土)
会 場:ビッグハート出雲

支部別・職能別会員数(合計)

(令和4年12月4日現在)



編集後記

明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症が流行し出して早いもので3年が経ちました。未だ終息に至らず保健、医療、福祉の現場でも不便な生活を強いられています。そんな中でも新しい事に挑戦してみるのはいかがでしょうか?皆さまにとって、明るく楽しい一年となりますようお願いいたします。引き続き、今年もよろしくお祈りいたします。



しまね県
かんごちゃん

【発行日】令和5年1月23日 【発行責任者】秦 美恵子 【編集】公益社団法人島根県看護協会

〒690-0049 松江市袖師町7-11 TEL.0852-25-0330 FAX.0852-25-3157

https://www.shimane-kango.or.jp E-mail:shimakk@shimane-kango.or.jp

